

## 多文化共生海外派遣研修（UAE コース）の様子②

10月31日（火）

アブダビでの活動も3日目を迎えました。UAEは7つの首長国からできている連邦です。アブダビ首長国には首都があり、UAEの首相はアブダビの首長が務めています。一番大きく力を持っている首長国です。

3日目のメインイベントはアブダビ首長国立科学技術高校（ATHS）でのプレゼンテーションです。各校でそれぞれテーマを決めて、夏から準備してきました。本校のテーマは「Do you know the national flags? (国旗って知ってる?)」です。ATHSに着くと入り口にUAEと日本の国旗が掲げられ、歓迎の気持ちを表してくれていました。



ATHSは男女別学です。今回は女子キャンパスで交流しました。外国の高校生を大人数受け入れるのは初めてということでしたが、遠くから来てくれたのだからおもてなしをしようという気持ちが随所に見られ、とても驚きました。校舎見学の際には、廊下ですれ違う生徒たちがみんな笑顔で手を振ってくれました。

今回交流したのは日本語を学んでいる生徒たちです。まず、互いの言葉やそれぞれの国のことを教え合うアイスブレイクが行われました。プレゼンテーションでは、日本とUAEの生徒が調べてきたことを発表しました。お互いのことを知ろう伝えようという姿勢が強く見られて、とても素敵な交流でした。

ランチタイムでは民族衣装、伝統的なゲーム、家庭料理を用意してくれました。男子は男子キャンパスへ移動してとても良い交流が行われたそうです。他校の生徒曰く「想像の5倍くらい歓迎してくれた」そうで満面の笑顔で帰ってきました。



ATHSでは、保護者感情に配慮して、女子生徒を写真に収めることは認められませんでした。また、UAEの男女の生徒同士は交流することはできないため、オンラインを活用しながら発表を行いました。そのような文化の違いはありますが、生徒たちが互いを尊重しながら笑顔で交流し理解を深め、仲良くなっていく様子はとても頼もしく思いました。

午後は、アブラハムファミリーハウスを車窓から見学しました。情勢に配慮して入場はしませんでした。イスラム教のモスク、ユダヤ教のシナゴグ、キリスト教の教会、その他の宗教が祈りを捧げるための施設が、一つの敷地にあるというのは寛容を是とするUAEらしさを感じました。

ルーブルアブダビ美術館ではテーマ別に部屋が作られていましたが、ここでも多文化の寛容が大きなテーマであったように思われます。様々な宗教や国の美術品が収蔵され、多面的に鑑賞することができました。

明日はドバイへ移動します。UAEで一番の商業都市はどのような文化を持っているのか、とても楽しみです。

